

ホニホニ研究便り

《研究主題》 学びの手ごたえ を“つなぐ” 算数

7月 8日（水）、4年で『角の大きさ』の授業を行いました。

○授業に関して

中学年の目指す児童像は、「**数学的な見方・考え方ができる子**」です。

- ①自分の考えをもち、分かりやすく説明できる力。
 - ②図や数直線などを使って、考えることができる力。
 - ③既習事項を活かして問題を考え、解決できる力。
- この三つの力を育てていきます。



そのために、授業の中でこんな工夫をしました！

- ① 児童の思考を促すために、教師が児童のつぶやきや発言に対して、全体に問い返して考える時間を設けました。
- ② 授業の最後に練習問題を通して振り返ることにより、学習の理解度を確認し、さらに、日直の終わりの挨拶によって学習内容を確認しました。



*自分の考えをもち。



*子供たちの発言を、全体に問い返しなが
ら学びを深めていく。



*練習問題で確認する。

<振り返りノートより>

- ・はじめは測り方がよくわからなかったけれど、友達の考えを聞いて、どこを測ればよいか分かりました。180°にそれ以外をたすやり方がやりやすかったので、次やるときはこのやり方で測りたいです。

次回は、9月2日(水) 5年の研究授業 単元名「偶数と奇数、倍数と約数」です。
今年度は、感染予防のため、研究授業参観はできませんのでご了解ください。